

保険医年金、55年度配当

9.0%に確定

募集期間は9・10月

石川保険医新聞

発行所
石川県保険医協会
金沢市泉本町4丁目101番地
泉耀ハイム101号室
電話 (0762) 43-6773
発行人 後藤田博之
印刷所 ユーアイ印刷
(会費月額 3,000円)

医療・福祉に大々々

第二臨調が第一次答申

七月十日に提出された臨調答申は、「行政改革」の名のもとに国民生活全般にわたる切り捨て、特に福祉、文教制度を根本的に改悪し、国家予算を大幅に削減することを最大のねらいとしています。

答申の中心は第二章「緊急に取り組むべき改革方策」であり、支出削減の個別の方策のトップに「医療」を上げています。

答申は「社会的公正の原則および自立・自助の精神に照

らして問題がある」として、社会保障の諸制度に転並み「所得制限・負担増、助成の縮減」など、受給者負担の強化をはかっています。

医療費抑制が最重点項目

国民健康保険の給付費や児童手当、特別児童扶養手当の国庫負担の都道府県への肩代わりについては「政府部内で本年末までに検討を加え結論を得る」となっています。厚生省はすでに三千億円(国保二千五百億円、児童手当等、五百億円)を肩代わりさせる意向であり、これが実施され

れば、医療費抑制のねらいから国保の審査がいつそう厳しくなり、住民生活にも大きな圧迫となります。

老人保健医療については、現在、継続審議になっている老人保健案の早期成立を要求し、患者の一部負担導入や支払い方式の改悪をねらっています。さらに地方自治体が単独事業として実施している老人医療無料制度対象年令の引き下げや所得制限の緩和措置を廃止すべきであるとしてい

ます。同法案の成立により国の負担は八百億円減少し、国民は四七二億円の負担増となります。

また、高額医療費自己負担限度も厚生省案では現行二九〇〇円を五一、〇〇〇円に引き上げようとしています。これが実施されると保険給付金が一五〇億円削減され、国保加入者や健保家族入院は月一二、〇〇〇円の負担増となります。

協会グループ保険、56年8月1日発足

ご協力ありがとうございました

共済部長 勝 木 育 夫



協会の共済制度の充実をめざし六月八日から募集していただきましたグループ保険は別表のように一二八名の先生方のご加入をいただき、おかげをもちまして無事発足の運びとなりました。(申込み状況は二面)

グループ保険の発足により、「保険医年金」「休業保障制度」とともに三本柱の共済制度として充実されることとなりました。

これはひとえに会員の先生方のご理解とご支持のたまものと厚く御礼申し上げます。

また、募集期間中には宣伝物や保険会社担当者の訪問など気をつけたりもしますが、会員各位にはご迷惑をおかけしたこともあったかと存じます。紙上をおかりして深くお詫び申し上げます。

今後とも会員のみなさまのご要望をくみとり、協会の共済制度の充実のため一段と努力して参る所存です。いっそうのご協力をおねがい申し上げます。

秋の臨時国会が焦点

医療保険の定額国庫補助の廃止、医療保険事務費国庫負担の保険料財源への切り替えなど、医療保険に対する国庫負担を全面的に削減しようとしています。

さらには国立病院や療養所の整理統合、病床数削減、医師、看護婦等の定員削減なども指摘されており、国立病院の医療供給体制が困難となり、地域医療や患者サービスの低下を招くこととなります。

鈴木内閣は、こうした重大な改悪をねらった臨調答申を全面的に実行に移すため、行革法案の関連法案として、一括処理をはかる意向であり、今後、秋に予定される臨時国会が大きな焦点になります。

新点数運用研究会

実質ダウンの点数改定に皆様、その対応に苦慮されていると思います。保険医協会では新点数の疑義・運用について現在、アンケートを行っています。その集計にもとづいて運用研究会を開きます。

是非ご出席下さいませようお願い致します。

- とき 八月十二日(水)午後七時半
- ところ 金沢プリンスホテル別館二階会議室 (駐車は大和グリーンパーキングにて)

輪島鳳至会員懇談会

昨年に引き続き、二回目の会員懇談会を次の要領で開催します。

特に今回は六月一日実施の改定点数の問題点、不合理点数の是正、運用上の有利な取扱いを中心に話し合いたいと思います。お誘い合わせのうえ、是非ご出席下さいませようお願い致します。

- ★とき 八月二十二日(土)午後六時
- ★ところ 輪島市農協会館和室

医心凡語

昔、中国の山の中に、猿の言葉がわかる仙人が住んでいた。雪が降ると、遊びにくる猿たちに、秋に獲ったくるみの実を与えるのが習慣であった。ある年、くるみの不作のため、猿一匹につき「朝三個、夕四個」のくるみの実を配給制にして与えていたところ「くるみが少ない、もっとくれ」と猿たちは言った。

そこで仙人は考えて「朝四個、夕三個」にしたところ猿たちは満足した。

これは中国の「朝三暮四」という昔の童話である。これを現代風にアレンジすると次のようになる。

インフレの世の中で、猿の医者たちが医療費の値上げを要求すると、厚生省の仙人が点数のおきかえだけで実質上の値上げのない点数改正をやったので、猿の国民も医者たちを値下げを断行したにもかかわらず、「医療費は値上げした」と新聞・テレビで公言しました。すると猿の学術団体を自負する医師会も黙ってしまっただので、猿の国民も医者たちが満足したのだと考え、これから益々良い医療が受けられると思っただけで安心しました。……ということになる。

こんな無茶な論理が、白昼堂々とまかり通る世の中が本当に存在するのが不思議でない。

昭和 55 年度 臨床検査精度管理調査結果の概要

<石川県全項目参加>

施設名	検査項目数	修正点
石川県医師会臨床検査センター	48.0	93
太陽厚生科学研究所	48.0	96
北陸メディカルサイエンス	48.0	100
石川県予防医学協会	48.0	95
北陸医学臨床検査センター	48.0	98
金沢西病院	48.0	91
国民健康保険輪島病院	45.0	92
恵寿病院	47.0	93
金沢医科大学病院	48.0	92
金城病院	43.0	90
浜野病院	46.0	82
社会保険鳴和総合病院	48.0	92
国立金沢病院	47.0	94

(日本医師会雑誌 昭和 56 年 6 月 1 日号)

毎年日本医師会が行っている臨床検査精度管理調査が今年も五月に施行され、六月一日の日本医師会雑誌に結果が発表されている。

臨床検査の精度はわれわれ開業医にとって診断の第一の目安になるもので関心度の高いものであるが、その結果報告の石川県分を見ると、全項目参加機関は十三(内、私立病院八、民間検査センター

五)であり、その成績は最高点が、民間H社の一〇〇点から民間病院の八二点とばらつきがあった。平均点は九三点であり、石川県医師会検査センターは九九点、高岡市医師会検査センターは九八点の成績である。今後の精度向上を望むものである。

— 会員よりの投稿 —

検査料金は一般民間センターより多少割高であるにもかかわらず、精度が最低では、会員も納得しないだろう。ちなみに、富山市医師会検査センターは九九点、高岡市医師会検査センターは九八点の成績である。今後の精度向上を望むものである。

臨床検査センター 精度向上を求む

臨床検査センター

持論

鈴木首相が政治生命をかけた行政改革、財政再建は六月二十二日臨時行政調査会(第二臨調)に対し、第一、第二特別部会および第一専門部会が報告書を提出した。

第二臨調はこれらの報告書を基に七月十日に予定される第一次答申の作成作業に入るが、答申の骨格となる報告書は社会福祉、文教、農林、公共事業などを中心に広範囲な歳出カットを要請している。第二臨調の報告書はその第一特別部会報告では①高額医療費の自己負担限度額の引き上げ、②地方自治体による独自の老人医療無料化、軽減措置の廃止、③児童手当制度の抜本的見直しなど具体的に求めているほか国民健康保険について「給付費の一部を都道府県が負担する」と提言しており、福祉、文教の切り捨てを図り、国民に犠牲を強いるだけでなく、自治体にもシワ寄せするものとなっている。

一方、第二特別部会報告では、「公

三つの部会報告を受けたが、その席で支出削減策をまとめた亀井第一部長は国民健康保険給付費の都道府県負担率の問題に、「知事が指導監督義務を負っており、医療費適正化のためにも有効だ。五十七年度は地方財政に余裕があるとの感触を得ているが、部会では必ずしも意見を統一できなかった。調査会で判

断願したい」と発言している。またこれより一週間前に歳出削減について部会長案を示しているが、①国保の一部を都道府県に求める、②薬価基準の見直しを行う、③不正請求是正のため、明細書の発行を求める、④健康保険の支払い方式の適正化のための改革を検討する、⑤医療保険の国庫負担を削減する、⑥老人医療

行政改革と保険医

引き上げでは現行一カ月三万九千円迄の自己負担を厚生省は五万一千円にすることを検討中である。老人保健制度導入による老人医療の有料化案では、外来一カ月五〇〇円、入院費一日三〇〇円を徴収する法案を提出済みである。すでに六月に実施された診療報酬改定はわれわれ開業保険医にとっては実質マイナスになり大打撃であるが、さらに厚生省の歳出削減が臨調の方針に沿ってますます第一線開業医にとって経営は苦境に立たされ、地域医療体制も国民医療も大きく後退することは目に見えて明らかである。

医療費の改定は医師だけの問題ではなく国民全般にかかわる問題であり、医療従事者と国民とのさまざまな形での対話活動をさらに推し進めて行く必要がある。ここに至り開業保険医は総決起して保険医協会を通じて国民・患者、そして他の医療関係団体と連携して再是正運動を起して行くのではないかと。

グループ保険の申込状況

地区別加入率

地区	会 員	有資格者	加入者	加入率(%)	配偶者
金 沢	175	162	49	30.2	16
小 松	49	41	17	41.4	8
石川・松任	48	40	21	52.5	9
加能	19	15	5	33.3	3
七河	9	8	5	62.5	1
羽美	15	15	6	40.0	3
北河	15	13	6	46.1	4
河津	16	15	4	26.6	2
鹿島	12	11	4	36.3	1
輪島	25	19	10	52.1	8
珠洲	3	3	1	33.3	0
全 体	386	343	128	37.3	55

※ 協会会員数は医科・歯科合計したもの。

保険金額別の加入状況

加入保険金	加入者
1,000万円	60
2,000万円	16
3,000万円	11
4,000万円	41
全 体	128

正に梅雨も明けようとした大阪で開かれた夏期学習会に初めて参加する機会をもつことができた。外の熱気がそのまま持ち込まれたような会場の雰囲気触れて、出発前にいさか懸念していた退屈を味わうヒマもなく、二日にわたる勉強を了えることができたら。いろいろな学会にはかなり慣れしているはずの小生ではあったが、かかる学習会は全く新しい一夏の経験に他ならず、アレヨアレヨと思う間に、終りの総括に入っていたというところが真相である。参加する人たちも開業医ばかりではない。歯科医あり、事務員も多しというわけで、会場の空気が新鮮であり、よどむことをしらない。みんなそれぞれに、真剣に討論しようという若々しい態度で迫ってこられるものだから、こちらもぐっと気をいれ、というところになっていく。

夏期学習会に参加して

未来を切り開く保団連

理事長 基 頭

第一は夜の記念講演、基調提案をして第二日の八つの分散(病院分散会を加えると九つ)を通じて、最も注目すべき共通の認識は現在の医療をめぐる情勢の厳しさである

のおそれがつよく、必然的に医療費が削減の大目標にされつつあるのではないかという認識である。それに対抗する医療の向上への努力は、現在が、フアンズムとデモクラシーとの分岐点にあることをよく理解した上で進めなければならぬと記念講演でも強調されたわけである。もちろんあくまでも民主的な、国民のための医療の実現をめざすことしかない

私の参加した第二分散会も含めて、各分散会では当然のことながら、新点数、薬価切下げによる収入低下が明らかにされ、それをもたらした政府と日医執行部に対する激しい批判が相次いだ。それとともに、かかる情勢にあるが故に、今こそ、組織を拡大強化し、医療活動、要求活動を推進し、三カ年計画の達成に近づくと絶好の機会であるとする声が強かったようである。より広範な国民の要望を結集し、真に合理的な新点数・新医療を獲得するために立ち上がらなければならないということである。それなくては、スローガンとされた「未来を切り開く保団連」はありえない。

分散会の司会を担当して

会長 後藤 田 博 之

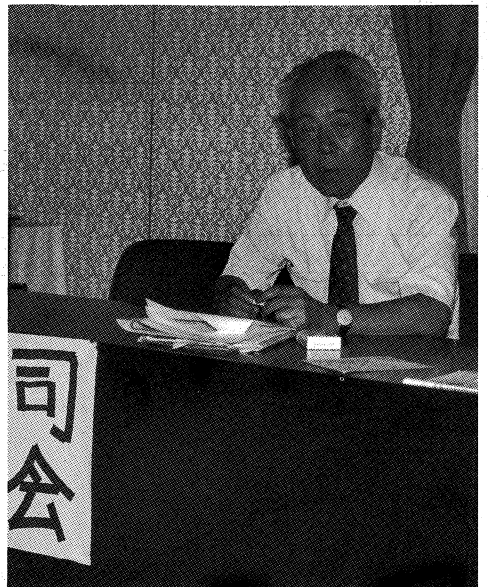
任幹事会で、
 ①現在の情勢について
 ②これまでの三ヶ年計画の活動と到達点
 ③幹部、事務局の役割について

この三つの項目を主眼として討議を行うよう申し合わせがありました。

今回は特定の「テーマ」が定められていなかったため、発言者は自由に、しかもその発言は広範囲にわたるため、司会者としてはその軌道を修正するのに苦勞致しました。

一方、発言希望者が多く、次々と挙手の発言要求がありましたので、とぎれることなく時間いっぱい討議できました。これは司会をしていて楽しいことでした。

私達の会場の討論も他の会場と大同小異のようでしたが、情勢についてはやはり今回の点数改訂をどう見るかについて、特に診療報酬の適正化(中医協審議用メモ)の問題、



司会

悪くなる保険医へのしめつけ等々、われわれにとって余り感心しない課題が山積している実感があったからでした。私が出席した第二分科会では、組織活動、地域医療、悪くなる保険医へのしめつけ等々、われわれにとって余り感心しない課題が山積している実感があったからでした。私が出席した第二分科会では、組織活動、地域医療、悪くなる保険医へのしめつけ等々、われわれにとって余り感心しない課題が山積している実感があったからでした。

ウナギ弁当で

七時間の討論を乗り切り

ところが今年は一転。予想されていたとはいえず、初日からの会場は医師・事務局員総勢三百八名(但し各協会の会員数で出席人数は割り当て)

の何とも云えない重苦しい厳しい心情に満ちておりました。原因はやはり、つい先程の診療報酬改訂と薬価基準の引下げ、老人保健法案をはじめとした福祉後退政策、医療法改

療費・薬価、医政などを中心に討論が進められました。沢山あった内容から極く印象に残ったものを記しますと、

。今では小さな協会でも真面目な超党派医療活動団体である。大きな協会では支部が必要になってくる。地域住民との対話と一体運動がこれからの地域医療活動の発展に不可欠。東京でのニサンシ(児童園

運動が市民にも喜ばれ、歯科・医科の協調を具体化することにもなっている。医療問題の解決は医師だけの力では限界がある。医療費改訂は不満だらけで早期の引上げが必要。薬業界への対応に厳しさを。いすれにしても驚く程の真剣さと熱心さの入り混ったデイスカッションが七時間も続いたのです。

なお最後に、今年の昼食はウナギ弁当で、昨年、筑田先生が嘆かれた学生食堂定食よりも少し良くなったことと、第四分科会での後藤田会長の司会が好評であったことをお伝えしておきます。

(理事 高松弘明)

薬価の引下げ率

	内科(7)	外科(4)	小児科(2)	他科(3) (婦・整・耳)	平均(16)
薬価引下げ率	24.0%	18.5%	47.2%	19.9%	24.8%

今次診療報酬改訂の点数に及ぼす影響

薬剤費以外分	-12.9%	-7.7%	-26.8%	-7.5%	-12.3%
薬剤費	+1.5%	+1.2%	+6.8%	+1.4%	+2.1%
合計	-11.4% (-6.4~-20.0)	-6.5% (-5.4~-10.6)	-20.0% (-19.3~-20.6)	-6.1% (-3.3~-7.5)	-10.2%

みかけアップ実質ダウンの 今次診療報酬

新点数置き換え集計より

今回の医療費改訂について新聞紙上での厚生省の説明では一八・六%という大幅な薬価引き下げをカバリーして約二%のアップを上積みし、八・四%のアップということであったが、当協会が行った十六の医療機関での外来五月份の置き換えデータを表にしたのが左表である。

より約三〇%も高くなっている。診療報酬へのはねかえりも公称六%に比しすべての科で上廻り、小児科で四・五倍、内科で二倍を超えており、医療費のアップ分についても八・四%の公称に比べてすべて大幅に下廻り各料一%代で、前回冷遇され今回穴うめされたことと云われる小児科でさえ、一八・六%といわれる薬価引き下げが頻用品目の下げがきつこともあって、小児科で平均一〇・二%のダウンとの結果である。

この改訂について武見会長は、「技術料を評価してあるので評価できる」と発表しているが、私に云わせれば特別な病院で特別な機械、特別なスタッフでされる、ごく例数の少い検査・手術などについての評価であって、一般会員の技術についての評価はほとんどとされておらず、実態をふまえての技術料のカットが処々にみられ、その好例が点滴の五五〇ccへのアップだと思われる。これは重大で、点滴そのものの値切りである。

さて私達の医療費改訂についての提案であるが、初診料・再診料・処方料・レントゲン読影料・検査値判定料・手術料などの技術料を適正評価したのち、物価スライド制を導入すべきと考える。総医療費が歳入不足もあって圧迫される折、総点についての物価スライド制の導入は所詮無理で、薬価差が厚生省の主張する一〇〜一五%が適正とは考えられない。

テニス講習会は 9月に延期

六月二十八日、医王山スポーツセンターにて計画したテニス講習会には一〇医療機関より三〇名の参加申込みがありました。雨天のため中止となりました。協会では次回開催につき検討しておりますが、七、八月はコーチの横山氏及び企画担当の井口先生の都合がつかないため、九月まで講習会を延期にします。企画が決まり次第ご案内致しますので多数ご参加下さい。

レセプトがあらはす

第37例 高血圧症と臨床検査

A) さらに血糖、赤沈、検尿と多項目にわたり検査がなされています。

一方、投薬内容は一カ月前変更なく、しかも高血圧症に対して、いわゆる降圧剤が投与されていないので、症状ならびに血圧が比較的安定している症状であろうと思われる。

さて、高血圧症の経過観察上いかなる臨床検査が必要かというところ、たとえば、サイアザイド系降圧利尿剤投与例では、検尿(特に尿糖)、電解質、尿酸、BUN、クレアチニン、血糖(時にはGTT)を定期的にチェックしなければなりません。αメチルドパでは肝機能検査、血液障害の有無(血液像、血小板、β

この症例は高血圧症の経過観察中の症例で、検査項目の一部が「B」と査定されたレセプトです。まず、検査項目を整理してみると、血算(R、W、Hb)、血液像、血小板トマツ、ヘマトクリット、肝機能(MG、GOT、GPT、ZTT、T-TT、Al-P、LDH、TP)、脂質(T-Ch、TG、PLP、β-リポ、Ech、NEFA)それにBU、Nクレアチニン、尿酸(U・

診療報酬明細書 昭和56年5月分

氏名 (女) 明・大 6年生

職業上外の別 上/外 乗船中発病、下船中発病

傷病名 (1) 高血圧症

診察回数 (2) 4回

初診 1981年7月14日

① 初診 時間外・休日・深夜 回数 33x 224

② 再診 内科再診 56x 4 224

③ 指導 50x 2 55x 100

④ 投薬 内服薬 12x 4 1008 48

⑤ 検査 Ht、PITマツ像、MG、TP、T-TT、ZTT、GOT、GPT、AL-P、LDH、βリポ、Tch、TG、PLP、UA、HDL、Ech、NEFA、Bun、クレアチニンB2

合計 2,606

第3回家族・従業員レクリエーション

◆ 京都・大和路への旅 ◆

9月12日(土) 中央公園午後2時出発—宇治—「サンフラワーホテル 京都」午後6時到着 夕食後、京都の街を自由散策

9月13日(日) 東映・映画村—奈良公園(東大寺・春日大社・国立博物館)—金沢到着午後8時

参加費 大人二二、〇〇〇円 子ども一六、〇〇〇円

定員 四〇名 (先着順)

※ご家族・従業員そろって楽しんでいただけるバスツアーです。病医院のレクリエーションとして是非ご検討下さい。

(参加者受付中)

大腸疾患の診断と治療 (その一)

疫学よりみた大腸癌の実態

金大がん研外科教授 磨伊正義

近年わが国において大腸癌の頻度はかなりの増加傾向にあることは衆知の事実である。これは説明するものは、日常の食生活が欧米化したことと最大の理由であろう。即ち炭水化物、線維性食品を主

う一面もあろうが、大腸癌の絶対数の増加という事実がある。これを説明するものは、日常の食生活が欧米化したことと最大の理由であろう。即ち炭水化物、線維性食品を主

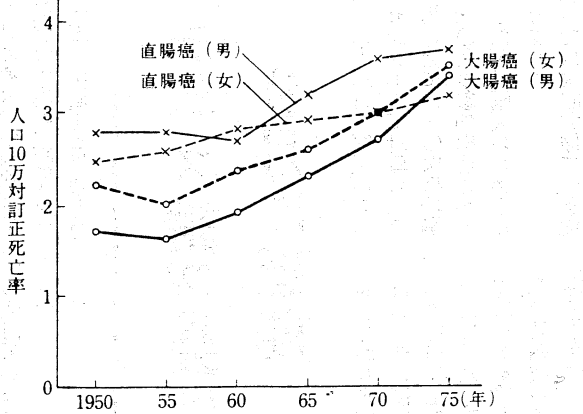
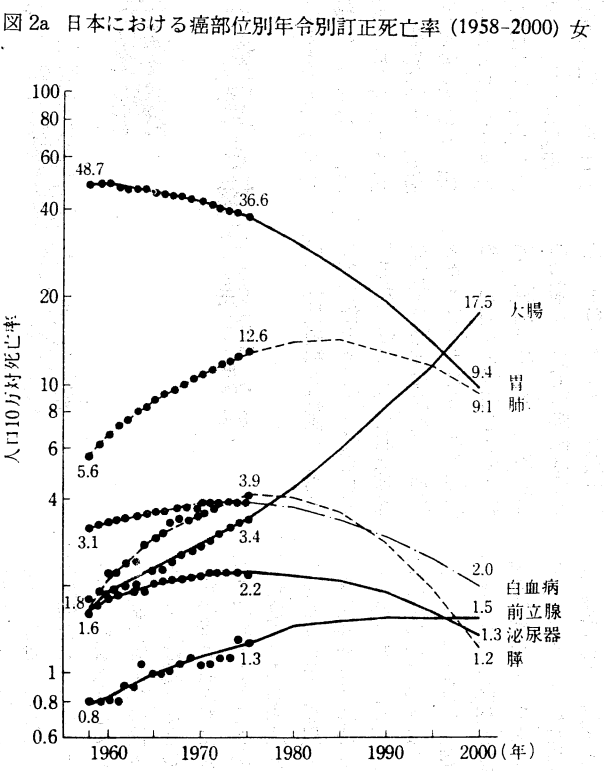
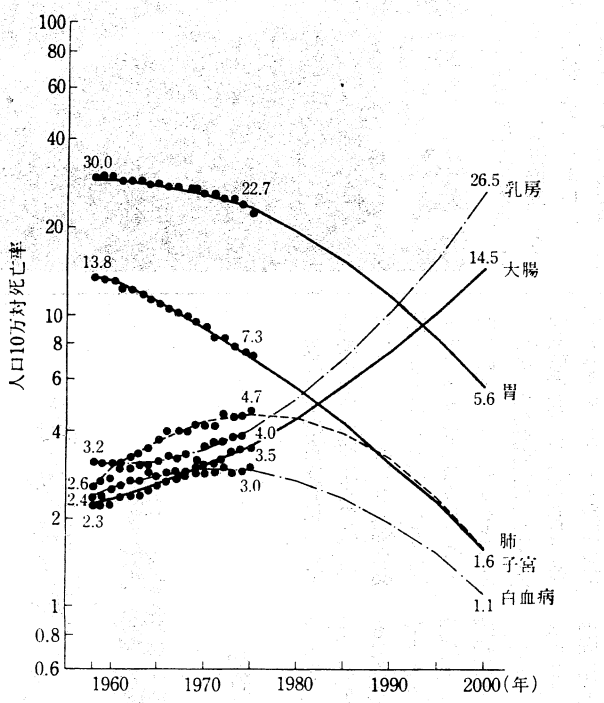


図2a 日本における癌部位別年齢別訂正死亡率 (1958-2000) 女

図2b 日本における癌部位別年齢別訂正死亡率 (1958-2000) 男 (図2は平山雄:内科シリーズ、大腸癌のすべてより引用)

図1 大腸癌の年次別訂正死亡率

昭和56年度上半期の研究会計画

Table with 7 columns: 回数, テーマ, 講師, 役職名, 開催日, 会場. Contains 12 rows of meeting details.

◎講師が確定次第 順次お知らせいたします。◎金沢会場は第四金曜日、小松会場は第三木曜日に定例化します。

半年間の研究会企画を決定

第一回学術部会

- 一、五十六年度上半期の研究会計画... 二、「健康のしおり」の発行計画... 三、健康なんでも相談の開催... 四、学術部員の補充について... 五、学術部会の定期開催について

保険診療の知恵

新点数の運用から

度から眼科の藤村和昌先生に加わっていただく。さらに一名補充の予定である。三、健康なんでも相談の開催... 四、学術部員の補充について... 五、学術部会の定期開催について

研究会報告

簡単にできる皮膚疾患の検査

講師 山崎泰助先生

皮膚科の検査のうちで、他の科の先生方に利用していただく検査法がかなりあるのではないかと考え、ここに記します。

一、真菌検査 一般細菌の検査は割合よくやられていますが、真菌は少いようです。皮膚科では水虫を始め、かなりの真菌症がある...

二、細胞診 水疱性疾患で、これがビールス性か、そうでないか迷うことがあります。特に口唇以外にでた単純ヘルプスの場合などです。これはTZANKテストがある...

アレルギーの判定に應用してみよう。抗生物質などの中毒型では陰性のことが多いですが、バルビタール・サルファ剤・ピリンなどの固定疹では、その皮疹部でのパッチテストは約半数にすぎません。パッチではありませぬが、降圧剤の日光疹などには内服照射試験が有効です。

◎本稿は六月二十六日研究会の講演要旨を講師の山崎泰助先生にまことめていただいたものです。

お知らせ

第104回保険診療研究会

テーマ... 形成外科開業医の役割... 講師... 畷 稀吉 先生... 七月二十四日(金)午後七時半... 石川県医師会館三階相談室

各料それぞれに重要な役割があるので、あらためて形成外科の役割などテーマをつけることは、おこがましいのですが、未だに医師の間にさへ形成外科であつたかう疾患内容は何かと質問されるので、日常私が診療している治療を紹介すれば、はつきりするのではと考へ右記の演題をつけました。当日は、形成外科であつたかう疾患と治療について紹介したあと、微小な変化醜形に悩んで訪れる心身症患者の内容と治療(これは今だ暗黒中模索中ではあるが)についても話してみたい。協賛 賛川エッセクス日本株式会社

訂正

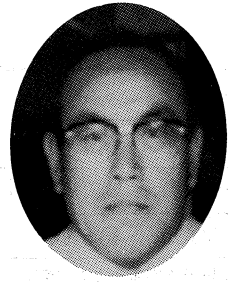
本紙前五頁で北信越保険医団連絡会の記事で、「次回(第三回)は九月十二、十三日に富山協会が担当する」とありますが、「九月十九、二十日」に、また、七頁の「第一〇三回保険診療研究会」の講師が「畷稀吉先生」とありますが「畷稀吉(なわてきよし)先生」にそれぞれ訂正し、おわびいたします。

石川の伝統工芸(その7)

金銀箔工芸

金沢箔の沿革

作田 勝

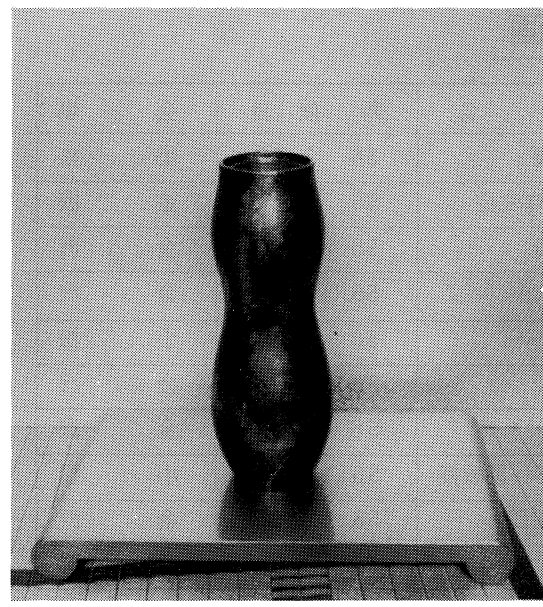


金箔の芸術と呼んでもよく、日本の歴史と文化の流れの中で金箔は、多くの文化財を燦然と彩り、芸術文化を育んできました。

また、飾棚、手筒、屏風、蒔絵、陶磁器等の調度品や、金・銀糸の織物や刺繍等、生活文化の上においても、芸術性を高める良き資材として、大きな役割を果してきたといっても過言ではありません。

わが国で金・銀箔が作られ始めたのは、奈良天平時代とみられています。天平勝宝四年(七五二年)大仏開眼法要が行われた東大寺大仏殿の鴟尾も、金箔によって燦然と輝いていたと伝えられ、また、唐招提寺の本尊、虚言那仏や、千手観音や、その他、天平時代の多くの乾漆仏像にも、その実証を見ることが出来ます。

この金・銀箔が金沢で作られた確証のあるのは、文禄二年(一五九三年)豊臣秀吉の朝鮮の役の陣中より、藩祖前田利家公が、国元へ金・銀箔の製造を命じる書を寄せていることに始まります。以来、加賀藩の美術工芸奨励策に培われ、浄土真宗の信仰の興隆による寺院の建立や、仏壇仏具の必需性に育まれて、遠く



太平の昔に端を発した伝統的技術が、一三〇〇年の光陰の中を連綿として生き続け、ここ金沢の地に、今日の金沢箔産地を形成したのです。

その日の乗船は午前三時半、まだ夜は明けず、周囲は真暗闇であるが、全くの無風、船に乗り込むとすぐ出発、人員は船頭を含めて五人、船は九頭竜川を下り、すぐ海に出て

六月下旬、以前より予定していた三国沖へハチメ釣りに出かけた。ハチメという呼称は北陸地方に限られた名前前で、関東・関西では「目張」と書いてメバルと呼ばれ、その名の通り巨大な目を持った魚である。結婚式に鯛が手に入らぬ時には、鯛のかわりに使われるほどで、一応高級魚とされている。

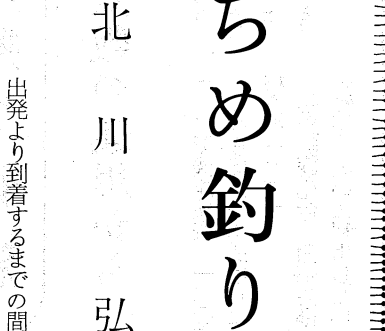
出発より到着するまでの間に釣りの準備をしておく。竿は二・五メートルの胴付、錘は二百号、仕掛けはサビキ十本の特注品、エサはイカの切身、ミチイトは十号、ミチイトと仕掛けの間に水中ライトをつける。仕掛けの一番上には二十号という大きな鉤をつ

この日は初投より調子よく、底につくやいなや、ゴツン、ゴツンとハチメ特有の魚信があり、竿を上げたいのをぐっ

一ヶ月間、新点数で診療された感想を各科の会員の方々に聞き取りました。やはり失望の色が濃いようです。今後はいかにこの新点数を有効に運用し改定前の実績に近づけるかが大切かと思えます。又、新点数研究会なるものもこれから必要になって来ると

三国沖のはちめ釣り

金沢市 北川 弘



ゴツンとハチメ特有の魚信があり、竿を上げたいのをぐっ

この日は初投より調子よく、底につくやいなや、ゴツン、ゴツンとハチメ特有の魚信があり、竿を上げたいのをぐっ

この日は初投より調子よく、底につくやいなや、ゴツン、ゴツンとハチメ特有の魚信があり、竿を上げたいのをぐっ

生活の中に永く生き続けて行くことでしょう。(作田金銀製箔株式会社社長)

石川の伝統工芸シリーズは今回で終了します。執筆者の方々のご協力に心より感謝致します。ますますご精進されますようお願い申し上げます。

◎本紙次号は夏季特集号です。新点数に思う、随想・旅行記などテーマは自由です。お気軽にご寄稿下さい。

二、組織 歯科会員 三二〇名 歯科会員 七八名

八月一日付にて、「協会会員名簿」を作成し、会員送付します。

一、新点数運用研究会の開催 (一面に案内記事) 二、新点数に関するアンケートの実施について

会への参加者 日時七月十一、十二日 会場 共済会館新大阪 参加者 後藤田会長、高松、長基面理事

八月一日付にて、「協会会員名簿」を作成し、会員送付します。

二、新点数に関するアンケートの実施について

一、新点数運用研究会の開催 (一面に案内記事) 二、新点数に関するアンケートの実施について

理事会だより

編集後記

(木戸 記)